

	教科における課題 (□)	身に付けさせたい力 (・)	課題を解決するための取組(○) 授業改善策(☆)
国語	<input type="checkbox"/> 言語の習得 <input type="checkbox"/> 話す・聞く力の育成 <input type="checkbox"/> 読む力の育成	・漢字を正しく読み書きする力 ・言葉の意味を知り、正しく用いる力 ・話を正確に聞き取る力 ・分かりやすく伝える力 ・文の内容が分かり、感想や意見をもつ力	○既習漢字の習得のために、定期的に小テストを行う。 ☆漢字を日頃から使うように指導をして定着を図る。 ☆国語辞典・漢字辞典・タブレット型 PC を活用し、授業の中で調べる時間を取り入れる。 ○最後まで話を聞くことを徹底する。声の大きさ、速さを考えて話すように指導をする。 ☆児童同士の学び合いの時間を意図して設定し、話す・聞く場面を増やす。 ☆「話す・聞く」の単位では、どう話し、どう聞けばよいのかを指導し、実践の場を設ける。 ○読む力を身に付けさせるために「言いかえる力」「比べる力」「たどる力」を授業の中で身に付けさせていく。 ☆比較ができる場合は、表などを使いながら違いを明確にし、理解を深める。 ☆因果関係を明確にするため、原因となる部分を中心に考える問題を作成し、理解を深める。 ☆文章の構成や接続詞に着目させ、読み取る力を養う。
社会	<input type="checkbox"/> 知識技能の定着 <input type="checkbox"/> 資料活用力の育成 <input type="checkbox"/> 表現力の育成	・都道府県の位置と名前などの知識と、地図帳を活用する力 ・資料を正しく読み取る力 ・ノートや新聞などにまとめる力	○都道府県の名前や特徴の理解を促すために、楽しみながら学習を進める。 ☆デジタル教材を活用したり、歌で覚えたりしながら学習内容に親しみをもたせる。 ○資料の見方、読み方の学習を繰り返し行う。 ☆資料の深い読み取りを促すため、資料の組み合わせによる読み取りの学習を行う。 ○学習したことを自分の言葉でまとめる活動を設定することで、知識を定着させ、理解を深めると同時に表現力を育てる。 ☆まとめの新聞やノートを作成し、学んだことを言語化する機会を設ける。
算数	<input type="checkbox"/> 計算力の定着 <input type="checkbox"/> 学習意欲の向上と	・四則計算を正しく行う力 ・自力または話合いで課題を解決する力	○計算力の定着を図る。 ☆既習事項のプリント学習などを行い、基本的な四則計算の力を付ける。 ○思考する、話合いの時間の確保、教材の工夫

	<p>持続</p> <p>□言葉で表現する力の向上</p>	<p>・分かりやすく説明する力</p>	<p>☆問題の考え方を問い、式と併せて図や表を使って説明させる。</p> <p>○定期的に説明の必要な問題を用意する。</p> <p>☆友達同士で比べ合ったり、説明し合ったりする経験をすることができるような学習内容の設定を行う。</p>
理科	<p>□学習意欲の向上(自然への関心、愛着)</p> <p>□科学的思考力の育成</p> <p>□発表への意欲や工夫</p>	<p>・調べる力(観点をもって観察する力)</p> <p>・考察する力</p> <p>・発表する力</p> <p>・表現する力(絵図や言葉)</p>	<p>○実験ノートの書き方を理解し、考察まで自分の力で書かせる。</p> <p>☆本時の学習課題に正対させ、答えを出すことができるような実験を行う。</p> <p>○観察のポイントを示し、スケッチを行う。</p> <p>☆継続して観察を行い、観察の目を養う。</p> <p>○発表し合う場面を多く設定する。</p> <p>☆発言、対話しやすい場を設定する。</p> <p>○ノートやカード、タブレットへの、内容に合わせた記述の仕方を指導する。</p> <p>☆手本となるような良い成果物を共有し、能力向上の底上げを図る。</p>
図工	<p>□想像したことを絵や立体で表す力の向上</p> <p>□造形活動を充実させるための知識・技能の育成</p>	<p>・つくりたいものを思いどおりにつくりことができる力</p> <p>・モダンテクニック、木版画の技法</p> <p>・身近な作品や美術作品を鑑賞する力</p>	<p>○見通しをもちながら作品作りに取り組む。</p> <p>☆試作体験を多く取り入れ、完成させる。</p> <p>○单元の中でモダンテクニックの活動を通して、様々な表現方法を身に付けられるようにする。</p> <p>☆ドリップングやスパッタリング、コラージュなどの表現方法を経験できる活動を行う。</p> <p>○身近な作品や美術作品を鑑賞する活動を通して、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。</p> <p>☆单元の最後に必ず作品鑑賞の時間を設定する。</p> <p>☆单元の中で美術作品の表現方法やアイデアを紹介する。</p>
音楽	<p>□学習活動に集中して取り組む力</p> <p>□基礎基本の学力</p>	<p>・正しい音程やリズムで歌う力</p> <p>・自分で課題を見つけて</p>	<p>○常時活動を内容を充実させる。</p> <p>☆歌唱やリズムあそびを常時活動として取り入れ、正しい音程感とリズム感を身に付けさせる。</p> <p>☆体を動かす活動を取り入れ、音楽を体全体で感じ取れるようにする。</p> <p>○1人1台タブレット型PCを活用し、自分のペース</p>

		<p>取り組む力</p> <p>・楽譜を読む力</p>	<p>で学習を進められるシステムを作る。</p> <p>○階名や音楽記号を覚える学習を取り入れる。</p> <p>☆歌ったり演奏したりしながら学習を進めていき、聴こえ方の違いに気付いたり、表現の工夫の良さに気付くことができるようにする。</p>
<p>体 育</p>	<p>□体力の向上</p>	<p>・基礎体力</p> <p>・運動技能</p>	<p>○体力向上月間との関連を意識した指導を行う。</p> <p>○タブレット型 PC を活用し、技能ポイントを理解させ、体力を高める。</p> <p>☆運動中の自己の様子を撮影し、めあてに対する達成度を計り、改善点を見出し、新たな目標を立てさせる。</p>